

どう防ぐ?



ネット トラブル 15

子どものネット問題が頻発し、重症化してしまふ根本的な要因として、大人より子どもの方が、ネットの新技术や新サービス、情報機器の使いこなしが確実に進んでいる「大人と子どもの逆転現象」がある。

子どもはネットトラブルの内容は子どもたち自身が一番分かっているが、子どもの判断力や経験では、防止したり解決したりするには力不足。しかし、大人はそのトラブルの原因はもちろん、仕組みや内容も分かっていることが多く、確実に対応が遅れる。

「逆転現象」が要因 重症化に



に、大人は自分の概念のルが起きてから「まさか中に生きていて、トラブル そんなことが…」「まさか

大人との意識の乖離

かうチの子が…」と気づく場合が非常に多い。子どもたちは音声入力、クラウド、多種多様のwebアプリなど、便

ネットに精通してしまふが故に、不純異性交流、性的情報、違法物品、薬物、犯罪方法など、知ってほしくない情報にも、大人以上に触れてしまふ危険性もある。

大切なことは▽親がネットやスマホの危険性を理解すること(アンテナを高くしておくこと)▽子どもたちが何をやりたくて、何をしているのか知ること▽新しい技術やサービスについて、柔軟な意識を持って対応できること▽トラブルに遭ったとき、きちんと話せる関係を築いておくことーなど、大人と子どもの普段の心の対話、行為の確認が何よりも重要だと思う。

新しい技術に抵抗がなく、既成概念や体験が乏しいため、目の前のものをそのまま受け入れられるが、経験が乏しいからこそ、架空と現実を取り違えることも出てくる。